

2023 年春学期語学留学/クィーンズランド工科大学

帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

朝八時半に授業が始まります。四つの班に分かれて座ります。授業の冒頭には英語を使った簡単なゲームを始めてから始まります。主に教科書を解いて答えや自分の意見をグループで共有する進め方でした。学生が教科書の問題を解くばかりで学生の集中力が落ち始めたら先生が軽い休憩や英語を使ったゲームを挟んでくれるので授業につかれることは少ないです。

授業はグループやペアで教科書を進めることが多く、内容は主に文法を習った。

教科書に沿って1週間でUnitを1つずつ進めていく感じでした。グループワークやディスカッションが多く、クラスメイトと話す機会が多くありました。

先生一人対学生達という形態で、教科書一冊を5週間かけて進めていく感じでした。ユニット1ごとを毎週進めていき、ユニット5まで終わらせたらそのセッションは終了という感じです。教科書を進めていくうえで Writing, Reading, Listening, speaking を満遍なく学んでいきました。週に一時間はエッセイなどを書く Writing に特化した時間がありました。

9時から始まり、1時で終わりました。遅刻する学生も少なくはありませんでした。なおかつ、遅刻したとしても数分の遅れならば特に何も言われることなく開始しました。

授業は対面授業。授業スケジュールは、8時30分～10時30分 30分休憩 11時～1時 2時～3時(自主参加の補習授業)。クラスはレベル分けのテストで決まる。5週間のタームの最終週にテストがありそのテストの結果で、上のクラスに行くことができる。EAP という Academic writing のクラスもある。授業は学校のテキストをもとに週ごとに一単元を学ぶ。4技能と文法を学ぶ。また、プレゼンテーションもあった。近くの美術館で芸術作品についてのレポートを書いたりした。

クラス担任によって全く異なった。1ターン目はアクティビティが多い先生だったが2ターン目はアクティビティよりも授業がメインの先生だった。進め方は、グループで話し合うことが多かった。自分の意見を言うことが多くあった。

教科書を使ったり、グループやペアでのディスカッションがメイン。週2.3でニュースを聞いてグループでまとめたりする。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

15人中、サウジアラビアと中国、日本人が占めていました。なので日本人が少ない班に座るように意識していました。

クラスの人数は12、13人ほど。一つ目のクラスはそのうち日本人が3人のみ。2回目のクラスは半分が日本人であった。留学生の出身国としてはタイ、台湾、中国、サウジアラビアなど。ほとんどがアジア圏であった。

1クラス約15人で、日本人は5人ほどでした。留学生の出身国はサウジアラビア、タイ、台湾、中国、モンゴルなどでした。

11人～14人程度でした。留学生の多くがアジア出身で、日本、韓国、中国、台湾、モンゴル、タイ、ベトナム、カンボジア、サウジアラビア、UAE などでした。一つ目のクラスはクラス人数12人に対し日本人3人(全員関西外大の学生)、2つ目のクラスは11人に対し日本人5人(内3人が関西外大生)でした。

タイ、台湾、モンゴル、中国、韓国、サウジアラビアの人がいました。ほとんどの人がアジアからの留学生です。中には家庭を持っていたり学生だったりの生い立ちは色々でした。

ターム4:日本人5人、タイ3人、中国3人、台湾1人、韓国1人、サウジアラビア3人、モンゴル2人 ターム5:日本人6人、タイ1人、中国1人、台

湾 3 人、サウジアラビア1人、モンゴル 2 人
日本 4 人・サウジアラビア 6 人・中国 4 人・カンボジア 1 人・コロンビア 1 人
クラスの人数は 13 人程。日本人が4~5人。留学生の出身地は中国4人、サウジアラビア4人、コロンビア1人

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

いつでも質問しやすい空気でした。特にサウジアラビアの人たちは年齢層とても幅広いのですが、みんな元気で明るいクラスになっていました。
授業内で話す機会が多くあった。先生に当てられ答えることもあるが、積極的な学生が多かったため、当てられる前に答えることが多かった。少人数教室であるため、先生が一人一人に寄り添って解説してくれた。
日本の授業よりもディスカッションやアクティビティなど話す機会が多かったので、クラスメイトと仲良くなりやすくクラスは明るい雰囲気でした。
先生方がすごくフレンドリーなところが一番大きく違う部分だと思います。そのため、授業中の雰囲気も発言しやすいものでした。先生が指名しなくても答えが分かる学生が答えているのが日本での授業と違うなと思いました。
手を上げやすい環境でした。周りの子ども達間違いを特に気にせず、授業に取り組んでいました。ですが学生によっては興味がない、退屈だという気持ちを露わにし、寝ている学生などもいました。
基本的にリラックスした授業だった。ゲームを用いた授業や、ロールプレイをした。学生の発言量が多かった。自分の疑問点を聞ける時間や、英文の添削をしてくれる時間があったため、疑問点をすぐに解決することができた。クラスには大学生は少なくほとんどが留学先で生活して、働いている人だった。
1ターン目は同じ年齢層の人が多く賑やかなクラスだった。2ターン目は主婦の方や30~40代の方が多いいたため静かなクラスだったがアクティビティがあれば一緒に楽しんだりする良いクラスだった。
プロジェクターを使い授業をする。机の向きはグループごとに向き合っており、ディスカッションしやすい。発言もしやすかった。
日本とは違い、積極的に意見が交わし合う事が多かったです。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

出身国について知れるトピックは楽しかったです。様々な日本とは異なる文化や価値観を知れました。
プレゼンをする機会があり、トピックが偉業を達成しまだ生きている人物で、あまり海外の人をプレゼンすることがなかったのでも印象に残りました。
タブーについてです。住んでいる国は違えど家族の話などタブーとされる話題は同じだったので印象に残りました。
就職のための面接
日本の富士山が取り上げられました。
自分たちのホームタウンについてのプレゼンテーションをした授業で、実際にその国に住んでいる学生が紹介するので、テレビでは取り上げられていない、おすすめの場所や、おすすめの料理などがあり、とても面白かった。
ニュースを聞いてリスニングをすること。
出身国の紹介

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことは何ですか。

四つの班のうち、一番日本人の少ない班の席に着くようにしました。
とにかく授業に積極的に参加することです。英語でディスカッションをすることは難しいですが、間違いを恐れていると発表ができず、英語力が全く伸びないと感じました。私は授業に積極的に参加することが苦手でしたが、参加することを意識して、授業を受けていました。
1つの4人テーブルに日本人が2人いることがあったので、日本語に頼らず英語で説明あったりして日本語を話さないように気を付けていました。
積極的に授業に参加することです。最初は授業中に発言することにも勇気が必要で、他の学生任せになってしまっていた部分がありました。先生と

の面談があった時にちゃんと分かっているから自信を持ってという風に言われて、私自身せっかく留学に来たのだから変わらないといけないと思ひ張りしました。授業で発言した方がより真剣に先生の話に聞こう、理解しようという気持ちになるし、答えがあつていたら褒めてもらえるし、自信にもつながるのでモチベーションが上がります。もし間違えてしまつても、自分が何を理解できていないかを知れるきっかけになつたので良かったと思ひます。

自分の疑問点はメモしておいた。日本人が多いクラスだったのでなるべく他の国の人がいる席に座るようにしていた。課題はすぐに終わらすことで授業に遅れずついていけたし、疑問点がすぐに解決できた。

予習復習は欠かさず行つた。あたりまえだが宿題も必ず行うようにし、図書館で自習などもした。

分からないことはすぐに先生に聞いた。グループで話す時に積極的に話すようにしていた。

積極的に自分から話すことを意識していました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
2人	台湾、日本	バス	30-45分
0人		バス	30-45分
0人		バス	45-60分
1人	日本人	電車	30-45分
1人	日本人	バス	30-45分
2人	韓国、ニューカレドニア、アラブ首長国連邦	バス	45-60分
0人		バス	15-30分
2人	日本人	バス	30-45分
4人	韓国やフィリピン、日本人がいました。	バス	45-60分

部屋に用意してあつたものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、ハンガー、机	ティッシュ、服、ゴミ袋、洗面道具、タオル
ベッド、机、ハンガー、ゴミ箱、バスタオルです。	変換機、延長コード、ドライヤー、スリッパ、鏡、洗濯ネット、シャンプー、コンディショナー。
ベッド、勉強机、冷蔵庫、ソファ	シャンプー、お菓子、夜食
机、ベッド、クローゼット	衣服、勉強道具、生活用品
ベッド、机、押し入れ、引き出し、タコ足配線、ハンガー	洗濯かご、シャンプーリンス、歯ブラシ、ドライヤー
ベッド、勉強机、勉強机用ライト、ハンガー、クローゼット、ドライヤー	水筒、弁当箱、弁当袋
ベッド、机、椅子、棚、クローゼット、ハンガー、タオル、スリッパ	日用品、服
机、衣類を入れる棚、ベッド、ランプ	シャンプー、リンス、ボディソープ

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑つたこと、驚いたこと。

家の中に虫がたくさんいる。でも慣れる。ホストファミリーの就寝時間が早い

お風呂の時間が10分までと決められていること。

食べ物の日持ち感覚に驚きました。これまだ食べれるの？と思うほど冷蔵庫に放置されてる食べ物を普通に食べる所です。

シャワーの時間が短い、お皿を洗つた後の泡を流さないこと

シャワーは21時半まで。シャワーは15分で済ませる。

朝が早かったため、夜ご飯は 17 時頃から食べだしていた。
早寝早起き
店の閉店時間が早い。Theater airplane のスペルの綴りが違ったこと。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

自室に引きこもらずリビングでホストファミリーと交流を深める。
わからないことがあればなんでもホストファミリーに聞くこと。
ルールを守る、分からないことがあったら放置せずきちんと質問して解決しておく、ホストファミリーとちゃんとコミュニケーションを取る、相手がされたらいやなことを把握しておく
わからないことは積極的に聞いて、自分でできることは自分ですべき。特にホストファミリーが高齢の方の場合、感染症などには気を付けるべき。買い物についていったりするのも楽しいので、ホストファミリーからのお誘いにはついていくべき。
郷に入れば郷に従えというように日本のルールやのに、日本やとこうするのに、と思うことは無くす。
ホストファミリーと仲良くなる、自分の思っていることは言う
わからないことがあればすぐに相談すること。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	不明	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
クラブやサークルは向こうの大学生のホリデーの期間とかぶっていたため参加できなかった。	学内に卓球をできる場所があり、よくそこを利用していた。キャンパスがシティから近かったため、そこに行き買い物やランチなどをした。
QUT の体育館でバドミントンを放課後の 18:30-22:00 にできるのでクラスの留学生と参加しました。	放課後に勉強する際、学内にある図書館をよく利用しました。
街の図書館で行われていた英会話教室に行く	学校内の図書館をよく利用しました。出される宿題がほとんどオンラインのものなので、Wi-Fi が利用出来て快適な空間だったのでありがたかったです。また学校内の無料の飲料水や街まで行けるシャトルバスもよく利用しました。
大学から今週行われるイベントの詳細が毎週メールで送られてきた。セラピードッグと遊んだ。無料でトーストやコーヒーなどがもらえたり、お菓子を	学校のダイニングでよく課題をしていた。シティが近かったため、シティでご飯を食べたり、カフェに行ったりした。スーパーには頻繁に行った。

買うことでチャリティーに参加したりできた。	
セラピードッグに会いに行ったりした。	近くのショッピングモール、学校内のカフェテリア

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備	
英語のドラマや映画を英語音声で視聴し、少しでも英語に慣れるようにした。	
ポッドキャストを聞くようにして英語に慣れられるようにしていました。	
住所や電話番号が書かれた資料や、ホームステイのポリシーが書かれた資料をすべて印刷しておいた。日常的な会話を少しでも頭に入れるために、YouTube で家族の動画などを見た。	
留学先でよく使えそうなフレーズを覚えた。	
ブリスベンや QUT について調べた。ホストファミリーと連絡を取り合った。	

留学前にしておけばよかったと思う準備	
単語を見直したり、発音をしっかりと覚えること。	
日常会話を留学前に勉強しておいたら良かったと思いました。ホームステイが始まって最初の2週間程は日常会話が難しく感じたので自分の感情を伝える言葉や、反応するフレーズを知っていたらもっと会話ができたのかなと思いました。	
オーストラリアについてもっと調べておけば良かったと思う。	
もっとスムーズに話せるようにしたかった。	
英単語を覚えること。	
インプットしたものをアウトプットすること。	

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの	
洗濯ネット、日本のお菓子	
ゴミ袋やティッシュはとても役に立ちました。私のホストマザーはお茶が好きだったため、お茶を持って行った時は喜んでいただきました。	
熱の時に使う冷えピタです。ホストマザーが熱を出した時に冷えピタを持ってきていたのでプレゼントしました。初めて冷えピタを見たようで驚きながらも喜んでくれました。	
歯ブラシ(海外のものは大きすぎる)	
日本のお土産 折り紙 日本食 折り畳み傘	
日本のお菓子、タオル 持ってきて役に立ったものは、風邪薬や常備薬	
ドライヤー、日本のお菓子	

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
シャンプーは日本と水が違うので現地のもを買うほうがいい。	味噌汁などインスタントのものや日本のお菓子。向こうの国では全てが高いため。
ゲーム機	厚手のトレーナーなどの暖かい服、ヒートテック
筆記用具	ごはん
洗濯ネット、辞書	服(多めに)
服	

洗剤。たくさんの半袖。	特になし。
-------------	-------

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレカ。二重認証を登録しているクレカは日本の携帯番号が必要になるので解除しておくべき。	クレカ上限10万円
	30万円ほど
銀行のデビットカードと、三井住友銀行のクレジットカードと、現金です。	クレジットカード上限 30 万円、現金 2 万円です。実際に使ったのは合計月 10 万円程でした。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限50万円、現金15万円。カードはアメリカンエクスプレスを使用しましたが時々使えないお店があるのと、電車やバスで使うGOカードが支払えなかったためVISAをお勧めします。現金はほとんど使わなかったです。
クレジットカード	50 万円
クレジットカード、現金	クレジットカード 15 万(日本から足りなくなったら振り込んでもらった) 現金 5 万(割り勘の時に銀行口座がないため現金が必要だった)
クレジットカードが主なメインで、3 万円程現金	クレジットカード上限 30 万円を 2 枚。JCB は使えないところが多いからおすすめしない。現金 3 万円
クレジットカード、デビットカード、現金	現金 3 万、クレジットカード

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

食費は三ヶ月で7、8万ほど
外食費は月 4 万円ほどです。
ホームステイだったので住居費は0円。食費はたまに外食で一回20ドル~30ドル程度でした。
食費と交際費で 10 万
食費は外食したら 2000 円~3000 円程度。
週2ぐらいで外食していたので週40ドルぐらい

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

2万五千円
通学費は月1万5千円ほど
通学費は 1 週間 5 千円ほどです。
テキスト費0円。交通費は一週間で40ドル程度だったと思います。
通学は 10 万ほど
テキスト代なし。通学費: 月 1 万程度
1 日交通費 400 円、テキスト代は分からない。
通学費は週20ドルぐらい。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
30万
一月10万円ほど
旅費は合計約9万円で、洋服代は約15000円です。
旅行先では毎食外食になるので2万～3万円ほどかかったと思います。外出が多ければ多いほどお金はかかると思います。
30万ほど
飛行機代約35000円(ブリスベン⇒シドニー⇒メルボルン⇒ブリスベン) 宿泊代約38000円(シドニー二泊三日、メルボルン一泊二日) 映画 一本800円 服 約32000円分 娯楽 テーマパーク入場料約12000円
20万程
旅行で10万ぐらい。そのほかで30万ぐらい。

5. 学習面について

語学カ・コミュニケーション能力の自己分析
ホストファミリーとの会話が耳に入っていくようになった。
語学カ・コミュニケーション能力の両方とも向上を実感できました。語学カとしては、普段習わない日常会話などを学ぶことができました。人と関わる機会が多いため、コミュニケーション能力もそれにより身につきました。
留学前の私は日常会話の読み書きやリスニングは出来ても、会話は全然できなかったのですが、今は自分の考えを答えられるくらいにはなりました。
語学力は上がったと思います。常に英語を聞いていたし、脳内の独り言でさえも英語だかどうか考えるくらい英語脳に変わっていました。元々コミュニケーション能力が高い方ではなかったですが、外国人の友達と遊ぶとき、それぞれの友達を連れてくるのが多くて、初対面の人と話したり、遊びに行く機会が多かったので多少は上がったと思います。
とても成長できました。結果的に海外により行きたいと言うような思いが生まれました。
英語を話すことに躊躇しなくなった。グループワークなどで自分の意見を発表することがうまくなった。
前まで自分から発言したりコミュニケーションをとることが苦手だったけど他国の人との関わりを通して話すことが好きになったし、話すことが楽しいと思った。他の人よりは話せなかったけど会話についていけるように努力をしていた。
スピーキングとリスニング力を向上できた

留学前の目標とその達成度
目標としてはしっかり英語で会話ができるようになることでした。留学生などのネイティブスピーカーではない人とは可能になりましたが、ネイティブスピーカーは早いため、まだ難しく感じました。
目標はホストファミリーや友達と笑い合えるくらいの日常会話ができるようになる事でした。たまに聞き取れなかったり、理解できない時もありますが、きちんと達成できたと思います。
日常生活で不自由のない程度の英語力を身に付けることが目標でしたが、それを達成できたと思います。どのように言えばいいかわからないことがあっても、簡単に言い換えたり、説明したりすることで、相手と意思疎通が取れずに困ることはほとんどありませんでした。また翻訳アプリなど、スマートフォンに頼らずに自分の力で会話をしようと心がけました。
TOEFL、TOEICの点数を取らなければ結果に繋がらないと感じ、これからは結果に残る努力がしたいと思った。
留学前の目標は使う英語を学ぶことだった。実際留学してみて日常で使う英語や買い物、旅行などで使う英語などが学べたと思う。
目標は、日常会話をスムーズにとることだったが、少しだけ話せるようになった。
外国人の友達を作る、オーストラリアの文化を知る。両方達成できた。

留学を通しての成長ポイント

色々な国の価値観や文化に触れられて、考え方が成長しました。さらに英語力を学びたいモチベーションを得られた。

問題解決の力が身についたと感じました。留学を通して英語に関する問題とぶつかることが多くありました。例えば、発音やわからない日常的なフレーズなど。その度にどのように解決しようと考え行動に移すことで身につけることができました。

行動力です。せっかく留学にきてるから何でもやってみないと分からないからこれも経験だ！という感じでフットワークが軽くなったと思います。何それ、楽しいのかな？と思っても、行ってみたら結局は楽しくなってる自分と今までしたことない経験ができることに気づき、友達に誘われたら断らずどこへでも行っていました。

自分の意見を言うことを恐れなくなったことです。

初めての人と隔たりなく話せる能力。

海外で生活していく力。日本では家族と過ごしているため、身の回りのことやわからないことは両親に聞けば大体解決したが、留学中は薬を買って自分の症状にあう薬を聞くことや風邪を引いた時の保険や旅行の手配、フライト前の準備、日々の生活で自分で解決しなければならない問題が多くあった。そのうえ英語なので自分で下調べをしたり、ホストファミリーに相談したり、多くの時間を要した。

留学を通して、自分の思っていることを伝えられるようになった。言葉の壁はあったがジェスチャーなどを使って伝えたいと思うことは必ず全て伝えていた。

何でもわからないことは聞こうと思うようになった。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

シャワー中に一人で反省会をよくしました。後になってあの時こういうこと言えたらよかったなっていうことを考えて次の会話の返し方を考えることによって悔しさをやる気に変えました。

留学を通して、語学を身につけたいという思いがとて強くなりました。

留学前は留学に行くという実感が湧かず、勉強しないと、思いながらポッドキャストを聞くくらいで、モチベーションはそれほど高くはありませんでした。留学中は自分の言いたいことが英語で思いつかず悔しいと思いを糧に勉強していました。留学後は身についた英語力を保とうと、アプリを使い会話したりしています。

留学中が一番語学学習に対するモチベーションが高かったです。自分より英語が堪能な学生も多くて焦りもあったし、面談で先生が褒めてくれたのでもっと頑張ろうというモチベーションにもなりました。

自分に意味のあるこの期間。と言う気持ちを忘れなかった

留学前は語学学習に対して、ただの勉強の一環で面白味の無いものであると感じていた。留学中は勉強というよりかは、自分がホストファミリーやクラスメイト達とコミュニケーションをとるために身につけるべき能力であり、勉強という感じには思わなかった。留学から帰ってきてからは、英語を使ってもっと新しいことに挑戦したいと思えるようになったり、自ら進んで英語の動画や文章を読むようになった。

他国の友人と話すためにより勉強しようと思えるようになった。

留学中から自分の思っていることをはっきりと言いたくてたくさん単語を覚えるようになった。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

シャイな自分を変えるために英語で自分から動いたり、ホストファミリーに話題を振ったりした。

わからないことがあれば近くにいる人などに聞いたとき。

授業で行ったプレゼンテーションです。日本について紹介するプレゼンテーションを2人1組ですが、ペアの人が説明する予定のスライドのスク립トを、私が間違えて準備していて、私の説明する分のスライドのスク립トはないままプレゼンテーションをすることになりました。幸運にも日本についてのプレゼンテーションだったのでアドリブで説明することが出来ました。その時は100%の力を注ぎました。

1～2週に一回ほどあったプレゼンテーションです。
テストで次のクラスに上がりたいと言う気持ちを強く持ってテストに臨んだ。
日々の授業。オールイングリッシュの授業は日本でも受けているが、様々な国の学生と受けるのはとても新鮮で、お互いの文化や価値観が違うため、刺激が多かった。また、日本にいるときには知らなかった勉強法や苦手分野に気づくことができた。先生がノンネイティブの先生で同じアジア人であったため多くのことを吸収できたと感じる。ただ、授業以外でクラスメイト達と話す機会がもっとあればよかったと感じる。日本人の友達と出かけることがほとんどだったため、英語力はそこまで伸びていないと思った。
風邪を引いた時に病院へ行った時。
クラスでプレゼンテーションした時

留学先大学の良かった点
設備や授業、クラスの雰囲気などはすごく良かったです。
少人数クラスなので友達を作りやすく、グループディスカッションやアクティビティが多く英語で話す機会が多くありました。先生も優しいです。
セラピードッグなどといったイベントがたくさんあって楽しかった。
設備が良い。先生方が優しく、相談にも乗ってくれる。
留学生が困った時にいつでも対応してくれると言う大学側の優しさがとても確かになった
定期的にイベントが開催されていて、動物と触れ合えたり、無料でトーストが食べられたりした。フードバンクも利用することができ便利だった。
少人数クラスで一人一人をしっかり見てくれていた。